

インパクト志向金融宣言 WL会合



本日本話したいこと

- 本日のWL会合では以下の流れでお話を進めてまいります。

1. 支援概要

2. アンケート概要

3. アンケート分析

1. 全体

2. アセットクラス別

4. 意見交換会

5. さいごに

支援概要

- PwCコンサルティング合同会社は、事務局よりご共有いただいた課題やニーズを踏まえ、人材育成、システムチェンジの2点について関与させていただいております。

人材育成	
IDFIのニーズ	• Impact Frontiersによってインパクト評価に特化した研修が9月から始まる予定だが、<u>融資、株式投資、上場株投資それぞれのニーズを把握しきれていない</u>。ニーズ調査を行った上で、既存の類似研修と比較し、不足している部分を補完する形で研修を設計することが望ましい。 • IDFIが4月に独立して会費制になったことから、多様な組織からの期待に応える必要があり、<u>会員のエンゲージメント向上にも寄与するテーマでもあり、支援ニーズが高い</u>。 • ご担当は、安間さん、小笠原さん。
我々の想い	• SPDPが目指す初期アウトカム（社会事業者の経営基盤の強靱化）と合致 • 金融機関と幅広い接点を持ち課題感を理解することが、本業の価値向上に繋がる • 組織が大切にしている価値観を広げることにも繋がる、やりがいのある領域
体制	大須賀、西正、岡田、野崎
支援方針（仮）	• 各機関へのヒアリング等を通じて機関種別ごとの人材育成ニーズを可視化。多様な組織からの期待に応える方向性を検討することでIDFI自体のガバナンスや会員のエンゲージメントの強化につなげる

システムチェンジ	
	• まだ構想段階である。中期計画を作成中で、横断的な分科会の設立を検討している。<u>社会課題マップの作成や、金融の関わり方、システムレベル投資の現状と実践例について調査することから始め、テーマ別分科会を開始すること</u>も一案である。 • PRI理事の木村さんをご参画予定。水口先生が人口減少、地域活性化等で課題領域を絞るべきと言う問題意識を持たれており、ご参画される可能性がある。 • ご担当は、安間さんに加えて、ご関心を持つメンバー。
	• SPDPが目指す初期アウトカム（ビジネスでリーチできない課題に関わる経験の獲得）と合致 • 今の社会において非常に重要な領域であり、PwCのパーパスにも合致
	早乙女、小野、北原
	• 大きなテーマであるゆえにScopeの設定が重要 • スポット調査や論点の提示により、活動の背骨を決める議論に参画できれば幸い

▲本日お話をさせていただく分野

アンケート概要

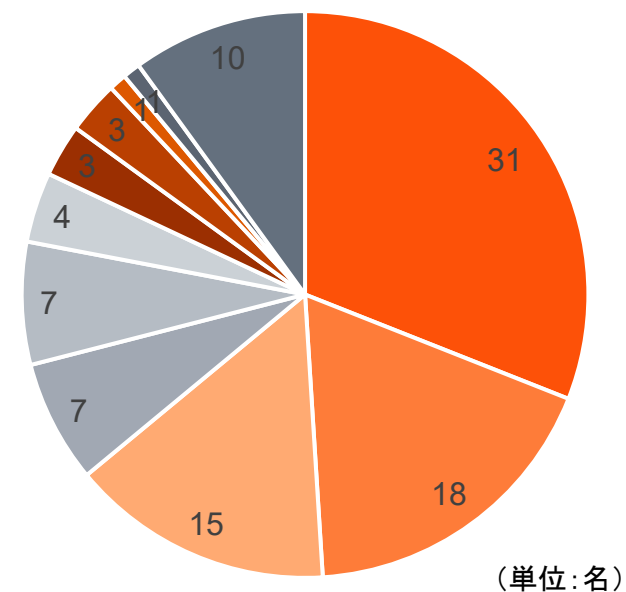
- インパクトファイナンス推進に向けた人材育成ニーズを調査するため、事務局のご支援をいただき実施したアンケート調査の概要をお示いたします。

目的	インパクトファイナンスにおける人材育成について、全体・アセットクラス別にどのようなニーズの傾向があるかを調査
調査対象	- 主にIDFI署名金融機関、署名協力機関、賛同機関のあらゆる役職・部門の皆さま （一部、署名金融機関から脱退された方も含みます）
調査方法	2025年9月19日～10月3日を回答期間とし、事務局を通じてオンラインでアンケート（Forms・Excel）への回答を依頼
回収状況	86名の皆さまから回答を受領 - 回答者の傾向は次項で言及

アンケート概要

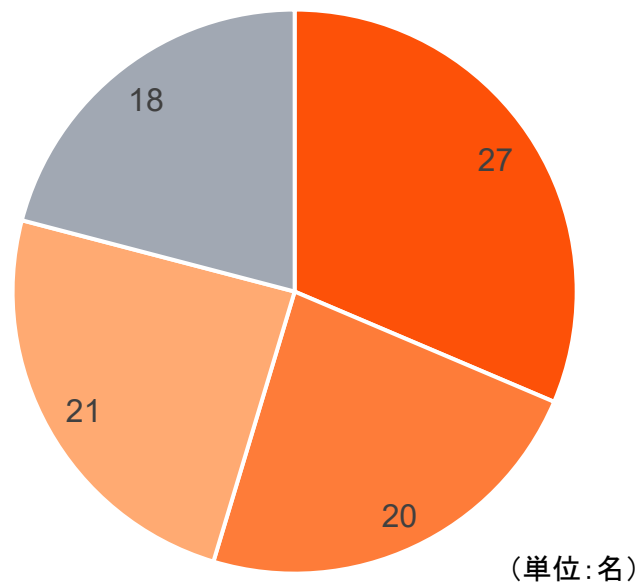
- 多様なアセットクラスから、インパクトファイナンスに何らかの関わりがある皆さまを中心に回答をいただきました。

アセットクラス



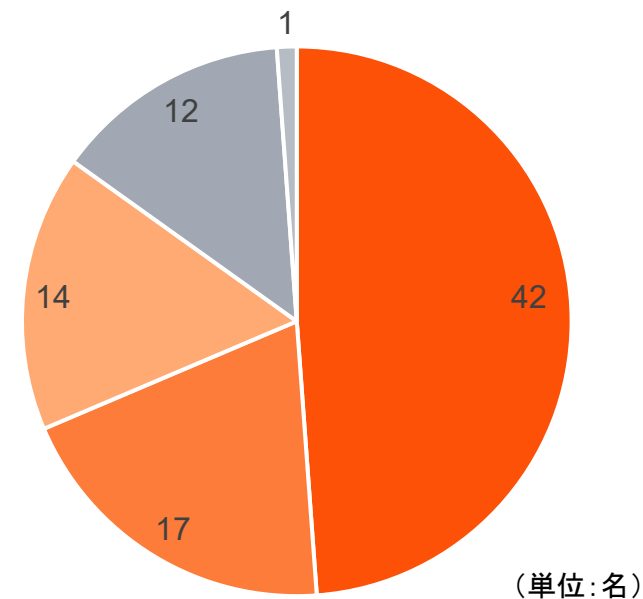
- 銀行
- ベンチャーキャピタル
- 資産運用会社
- 信用金庫
- 信用組合
- その他
- 生命保険
- PEファンド
- 証券会社
- 信託銀行
- 年金基金

所属部門



- 推進部門
- 企画部門
- 投資部門
- その他

インパクトファイナンス経験



- 実務経験あり
- 関与経験あり
- インパクトファイナンスの手法理解あり
- インパクトファイナンスの概念理解あり
- その他

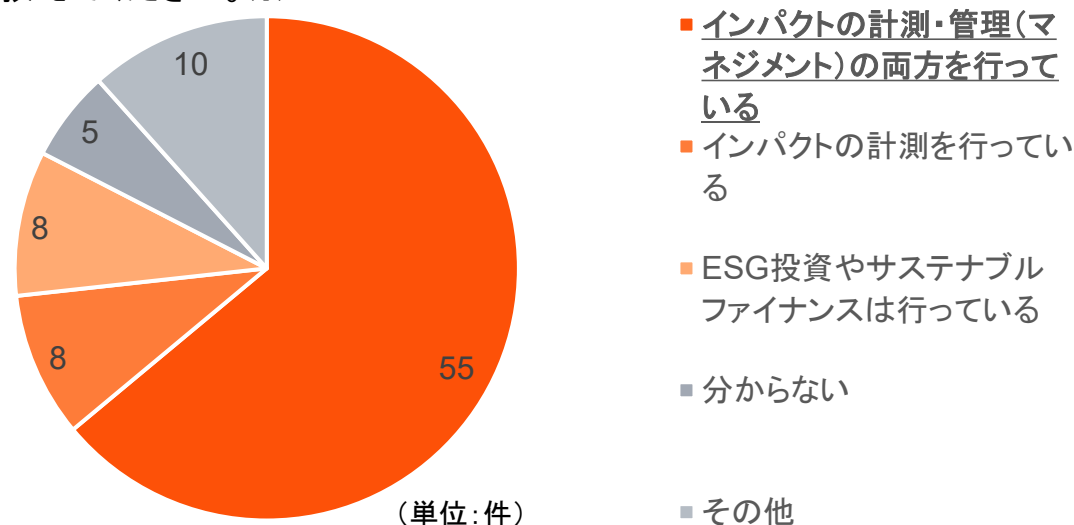
アンケート分析-全体

- アンケートの回答より、以下のような全体傾向を捉えております。

①インパクトファイナンスの実施状況

- 署名金融機関の皆さまは、インパクトファイナンスの計測・管理いずれも実施されているケースが多い

【設問】貴社におけるインパクトファイナンスの実施状況として当てはまるものを教えてください。※1

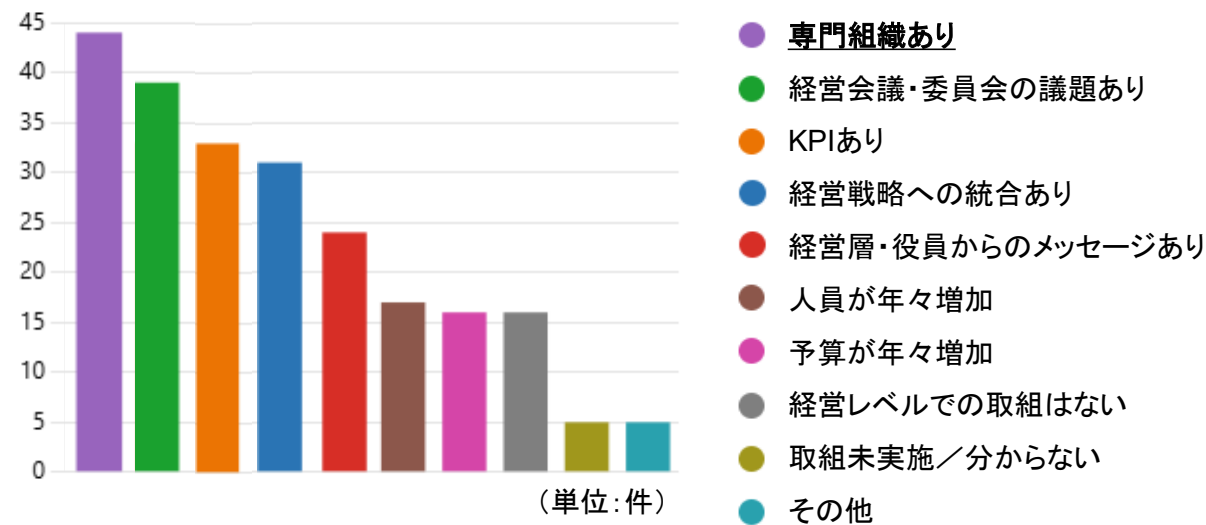


※1(「管理(マネジメント)」とは、インパクトの創出・削減を投融資先の実施だけに委ねることなく、金融機関として自ら、投融資先のポジティブインパクトの創出、ネガティブインパクトの削減に向けた積極的な管理・具体的なアクションを行っていることを指します)

②インパクトファイナンスの取り組み

- 経営観点でインパクトファイナンスが組み込まれており、実際の組織体制やKPI設定に落とし込まれているケースが多い

【設問】貴社におけるインパクトファイナンスの取り組みとして当てはまるものを教えてください。(複数選択可)



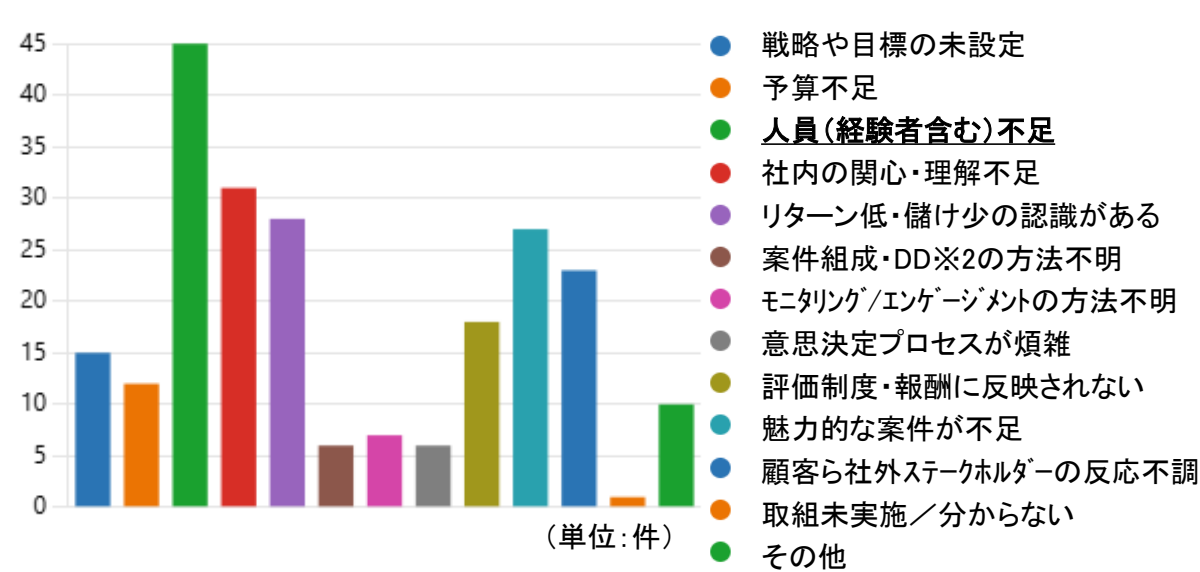
アンケート分析-全体

アンケートの回答より、以下のような全体傾向を捉えております。

③インパクトファイナンス推進上の課題

- インパクトファイナンス推進における最大の課題は、**専門知識や経験を有する人材の不足**である
- インパクトファイナンスに対する関心が不足していたり、関心があっても実利の少なさから推進が難しい

【設問】貴社においてインパクトファイナンスを推進するにあたっての障壁や課題として当てはまるものを教えてください。（複数選択可）

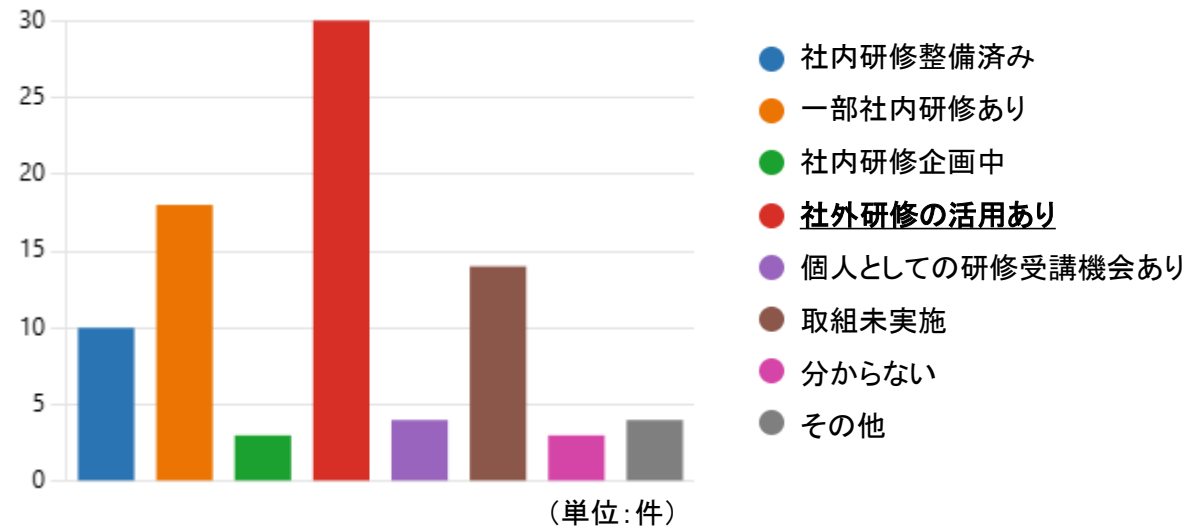


※2: デューデリジェンス

④人材育成の段階

- 社外研修を活用している**ケースが多く、社内研修があっても全社的な取り組みとして浸透していない
- 研修の取り組みが一切ない企業も一定数存在する

【設問】貴社におけるインパクトファイナンスの推進に向けた人材育成の段階として当てはまるものを教えてください。



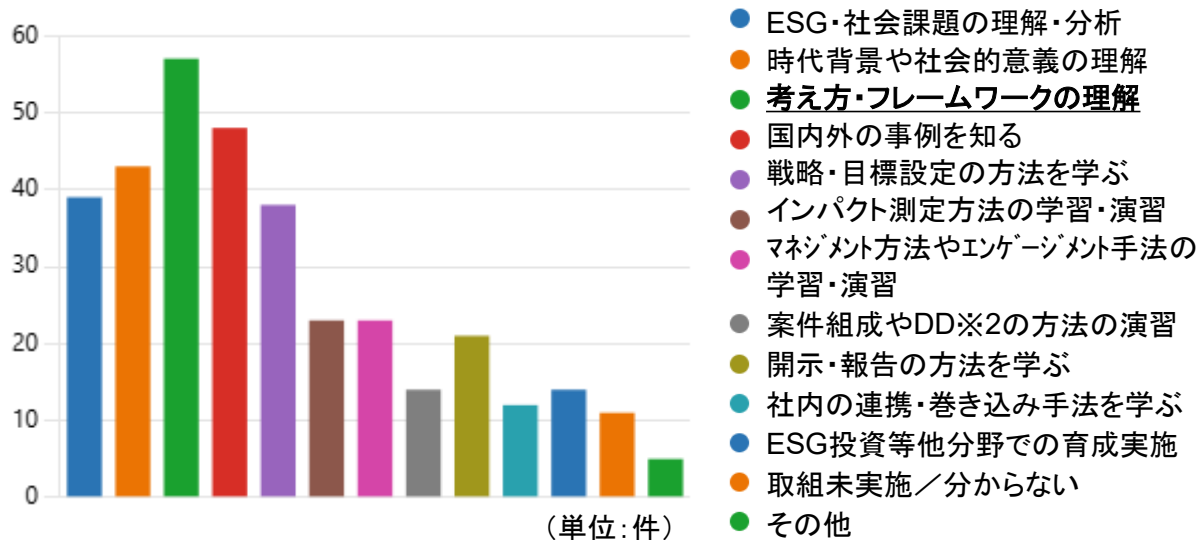
アンケート分析-全体

- アンケートの回答より、以下のような全体傾向を捉えております。

⑤人材育成の取り組み内容

- 人材育成の取り組みは多種多様だが、**ESGの理解やインパクトファイナンスの意義・フレームワーク、事例研究、戦略・目的設定**などを学んでいる傾向が強い

【設問】貴社におけるインパクトファイナンスの推進に向けた人材育成の取り組みの内容として当てはまるものを教えてください。（複数選択可）

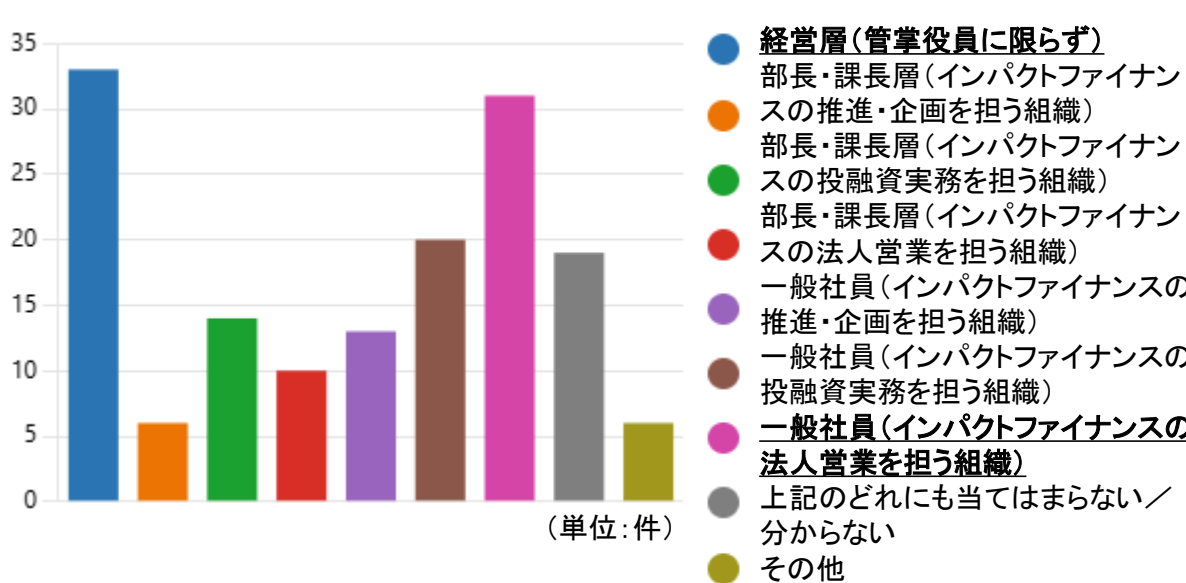


※2: デューデリジェンス

⑥課題が大きいセグメント

- 経営層**によるメッセージ発信に強い期待がある
- 実際の推進にあたっては投融資・法人営業の現場層の存在が必要不可欠である

【設問】貴社においてインパクトファイナンスに関する理解や知見が不足していると感じる役職・部署はどこですか。



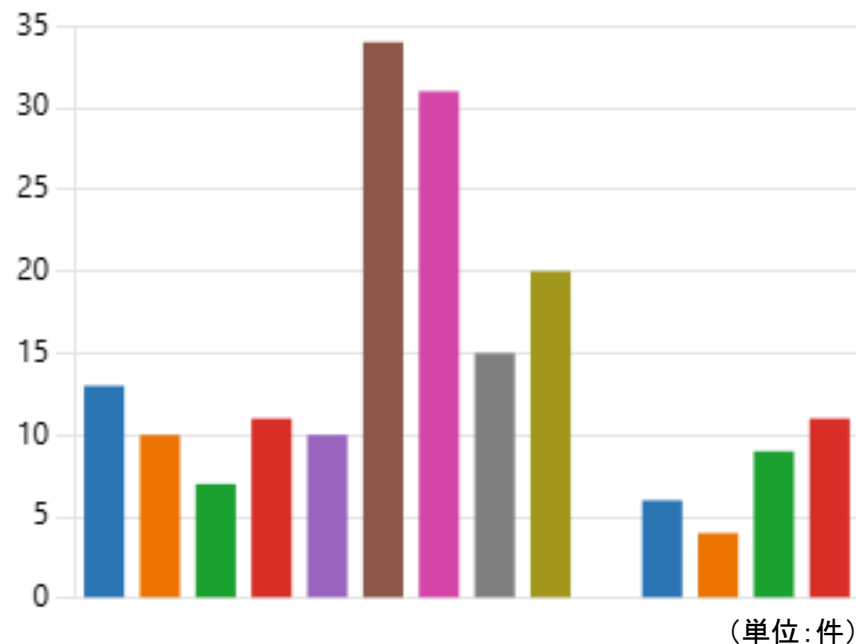
アンケート分析-全体

- アンケートの回答より、以下のような全体傾向を捉えております。

⑦人材育成上の課題

- 社内研修を実施したいニーズが高い
- 一方で、**社内研修のトレーナーとなれる人材**が数の面でも能力の面でも不足している

【設問】貴社においてインパクトファイナンスの推進に向けた人材を育成するにあたっての障壁や課題として当てはまるものを教えてください。（複数選択可）



- インパクトファイナンスの研修(社内・社外)の実施・受講に対する上級管理職の関与や後押しが不足している
- インパクトファイナンスの研修(社内・社外)の実施・受講に対する上司や他部門からの理解や賛同が得られにくい
- インパクトファイナンスの研修(社内・社外)の実施・受講に対する意思決定や承認のプロセスが煩雑である
- インパクトファイナンスの研修(社内・社外)の予算が不足している
- インパクトファイナンスの研修(社内・社外)の提供や受講が評価や報酬に反映されない
- インパクトファイナンスの研修を社内で提供できる人員が数の面で不足している**
- インパクトファイナンスの研修を社内で提供できる人員が能力の面で不足している**
- インパクトファイナンスの経験者が少なく、社内でどのような研修を提供したらいいのかわからない
- インパクトファイナンスの経験者が少なく、社内研修のサポート体制が不足している
- インパクトファイナンスの社外研修があることを知らない
- インパクトファイナンスの社外研修があることは知っているが、貴社にとって何が適切かわからない
- インパクトファイナンスの社外研修があることは知っているが、貴社にとって適切な研修がない
- まだ取り組みには至っていない／わからない
- その他

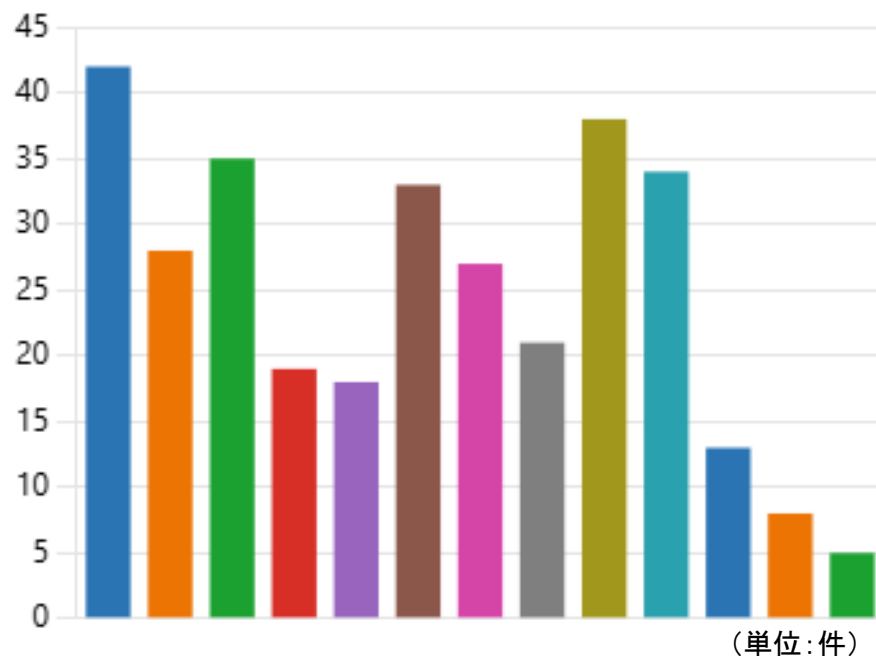
アンケート分析-全体

- アンケートの回答より、以下のような全体傾向を捉えております。

⑪IDFI参画理由

- インパクト志向金融宣言への参加理由として、国際的な潮流やネットワーク強化などの外部要因が強い
- 次点で、企業が重んじる考え方と一致しているという親和性を感じている層も厚い

【設問】署名金融機関・署名協力機関・賛同機関に該当する場合、インパクト志向金融宣言に参画された理由を教えてください。（複数選択可）



- インパクトファイナンスの国際的な潮流に対応するため
- インパクトファイナンスの国内外の政策や規制に備えるため
- インパクトファイナンスに対する社会及び顧客の要求に応えるため
- インパクトファイナンスへの署名・協力・賛同自体が貴社の評価や評判向上につながるため
- インパクトファイナンスに対する機運が貴社で高まっていたため
- インパクトファイナンスと貴社の理念や規範の親和性が高かったため
- インパクトファイナンスの概念や評価などを取り入れることで実務を強化するため
- インパクトファイナンスにおいて先行優位を築き、リーディングプレイヤーとしての地位を確立するため
- インパクトファイナンス推進によって社外とのネットワークを強化するため
- インパクトファイナンス推進によって長期的な収益機会や成長機会を得るため
- インパクトファイナンス推進によって国際的なプレゼンスを高めるため
- 分からない／特に理由はない
- その他

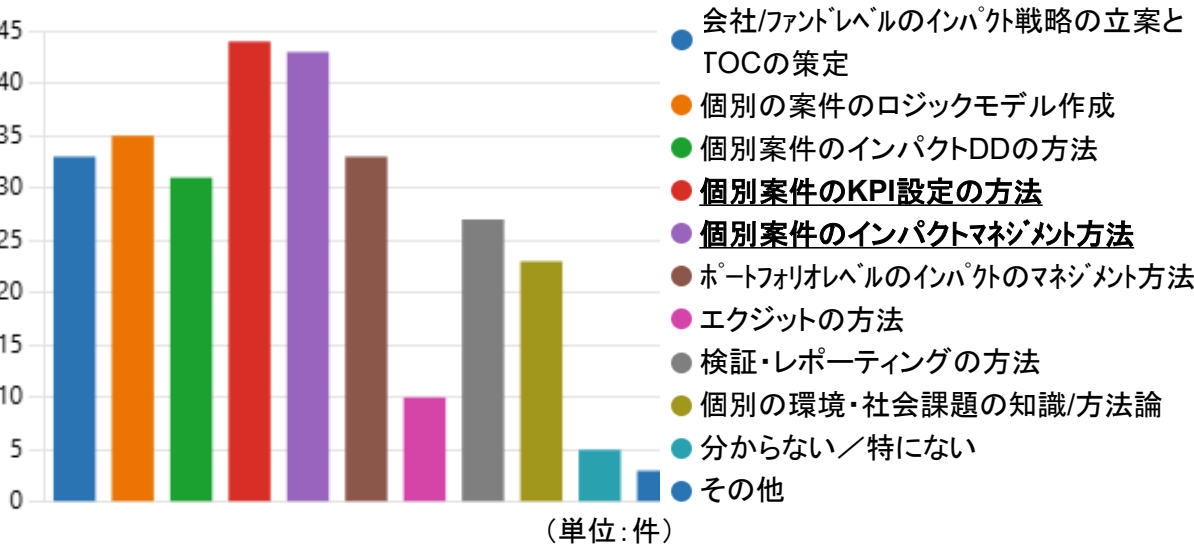
アンケート分析-全体

- アンケートの回答より、以下のような全体傾向を捉えております。

⑫IDFIに期待する研修テーマ

- 人材育成における領域ニーズは多種多様だが、**会社/ファンドレベルと個別案件レベル**での戦略、KPI設定、マネジメント等のテーマが多い

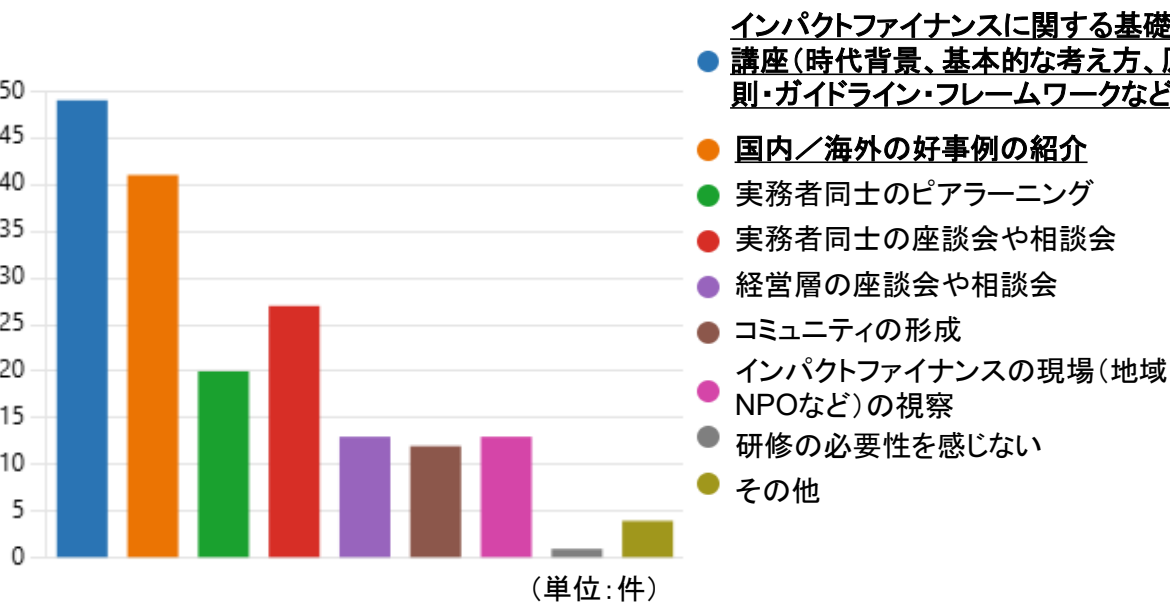
【設問】設問19で「非常に期待している（内容によっては会費とは別に費用が発生しても構わない）」「ある程度期待している（会費とは別に費用を払いたくない）」と回答された場合、インパクト志向金融宣言が提供する研修や類似の機会として、貴社にとって望ましい研修の領域を教えてください。



⑬IDFIに期待する研修形式

- 人材育成における形式ニーズも多種多様だが、**インパクトファイナンスの概念理解や事例共有**等を望む傾向が強い

【設問】設問19で「非常に期待している（内容によっては会費とは別に費用が発生しても構わない）」「ある程度期待している（会費とは別に費用を払いたくない）」と回答された場合、インパクト志向金融宣言が提供する研修や類似の機会として、貴社にとって望ましい研修の形式を教えてください。



アンケート分析-アセットクラス別

- アンケートの回答より、以下のようなアセットクラス別の傾向を捉えております。

①インパクトファイナンス
の実施状況

- インパクトファイナンスに取り組む機関は計測・管理(マネジメント)の両方を実施している
- インパクトファイナンスが経営会議や委員会の議題になることや、インパクトファイナンスの専門組織が存在するアセットクラスが多い。一方、経営戦略への統合や経営層・役員のメッセージにはばらつきがある
- また、「経営レベルで取り組みが加速しているとは言い切れない」との回答も一定数あり、インパクトファイナンスへの認知・関心から社内での実践にハードルを感じる機関もあると考えられる

		有効回答者数						
		15	35	7	3	18	7	4
カテゴリ	選択肢	VC	銀行	ベアトエク	信用金庫	生命保険	産運用会	証券
インパクトファイナンスの実施状況	インパクトファイナンスのうち、インパクトの計測・管理(マネジメント)の両方を行っている	80%	66%	57%	0%	50%	71%	0%
インパクトファイナンスの実施状況	インパクトファイナンスのうち、インパクトの計測を行っている	7%	11%	14%	0%	17%	0%	0%
インパクトファイナンスの実施状況	インパクトファイナンス以外のESG投資やサステナブルファイナンスは行っているが、上記のような取り組みは行っていない	7%	3%	0%	67%	6%	0%	50%
インパクトファイナンスの実施状況	分からない	0%	3%	14%	0%	17%	29%	0%
インパクトファイナンスの実施状況	その他	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
インパクトファイナンスの実施状況	インパクトファイナンスが経営戦略の一部として含まれている	67%	20%	43%	0%	50%	43%	0%
インパクトファイナンスの実施状況	インパクトファイナンスのKPIが存在する	53%	29%	57%	0%	56%	43%	25%
インパクトファイナンスの実施状況	インパクトファイナンスが経営会議や委員会の議題に挙がる	73%	23%	57%	33%	72%	71%	0%
インパクトファイナンスの実施状況	インパクトファイナンスに関して経営層・役員のメッセージが発信される	67%	6%	43%	33%	44%	43%	0%
インパクトファイナンスの実施状況	インパクトファイナンスの専門組織又は類する組織が存在する	53%	51%	57%	33%	56%	43%	0%
インパクトファイナンスの実施状況	インパクトファイナンスの人員が年々増加傾向にある	47%	11%	43%	0%	11%	43%	0%
インパクトファイナンスの実施状況	インパクトファイナンスの予算が年々増加傾向にある	33%	0%	29%	0%	39%	29%	0%
インパクトファイナンスの実施状況	インパクトファイナンスは経営会議などで言及されるものの、経営レベルで取り組みが加速しているとは言い切れない	20%	14%	14%	33%	28%	0%	25%
インパクトファイナンスの実施状況	まだ取り組みには至っていない／分からない	7%	0%	14%	33%	0%	0%	25%

アンケート分析-アセットクラス別

- アンケートの回答より、以下のようなアセットクラス別の傾向を捉えております。

②インパクトファイナンス 全体の課題

- 課題については各機関でばらつきがあるものの、人員(経験者含む)が不足していることが最も多く、**社内で教えることができる人材がそもそもいない・時間や労力の点から育成まで行っていない可能性が考えられる**
- VC・銀行では次いで社内での関心・理解の不足を課題に挙げられるのに対し、PE・信用金庫では戦略や目標の設定不足、生命保険・資産運用会社では予算不足や社内でのリターン不足・儲けの少なさ、証券では戦略や目標の設定不足・予算不足・人員不足・社内での認識に課題がある
- リターンの低さや儲けの少なさがハードル、案件組成やDDのノウハウ不足、評価・報酬制度への反映がないなど、実務面・インセンティブ面の課題も散見された

カテゴリ	選択肢	VC	銀行	ペートエク	信用金庫	生命保険	産運用会	証券
全般の課題	インパクトファイナンスに関する戦略や目標が定まっていない	27%	17%	29%	33%	0%	0%	25%
全般の課題	インパクトファイナンスの予算が不足している	20%	11%	0%	0%	11%	14%	25%
全般の課題	インパクトファイナンスの人員・経験者が不足している	60%	43%	43%	67%	44%	57%	25%
全般の課題	社内関係者のインパクトファイナンスに対する一般的な関心・理解が不足している	40%	37%	0%	0%	11%	0%	0%
全般の課題	社内関係者の関心・理解は一定あるが、インパクトファイナンスのリターンの低さや儲けの少なさという認識によるハードルを超えられない	20%	29%	0%	0%	11%	14%	25%
全般の課題	インパクトファイナンスの案件組成やデューデリジェンスの方法が分からない	7%	3%	0%	0%	0%	0%	0%
全般の課題	インパクトファイナンスのモニタリングやエンゲージメントの方法が分からない	7%	11%	14%	0%	0%	0%	0%
全般の課題	インパクトファイナンスに対する意思決定や承認のプロセスが煩雑である	7%	6%	0%	0%	0%	0%	0%
全般の課題	インパクトファイナンスの推進が社内の評価制度や報酬に反映されない	27%	23%	0%	0%	0%	0%	0%
全般の課題	インパクトファイナンスとして魅力的又は有益な案件が不足している	20%	20%	0%	0%	22%	0%	0%
全般の課題	インパクトファイナンスに対する顧客・社外ステークホルダーの反応が思わしくない	27%	31%	0%	0%	0%	0%	0%
全般の課題	まだ取り組みには至っていない／分からない	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
全般の課題	その他	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%

アンケート分析-アセットクラス別

- アンケートの回答より、以下のようなアセットクラス別の傾向を捉えております。

③インパクトファイナンス
に関する人材育成の
取組状況

- VCでは50%以上の機関が何らかの形で社内研修を実施している。生命保険においても社内研修の実施比率が高い。その他のアセットクラスでは部分的な社内研修や社外研修の活用が多い
- 育成の内容については社会課題の理解・時代背景や意義からフレームワーク・インパクト目標の設定、測定・管理・エンゲージメント手法など基礎から実務まで幅広くカバーされている。基礎から実務における基礎的な講座は既存の研修によって学習済みの可能性も考えられる

カテゴリ	選択肢	VC	銀行	PE	信用金庫	生命保険	資産運用会社	証券
人材育成の取組状況	体系的な社内研修が整備され、継続的に実施している又は実施し始めている	33%	6%	0%	0%	11%	0%	0%
人材育成の取組状況	部分的な社内研修の機会はあるが、対象者の範囲が限定されている	20%	26%	43%	33%	22%	29%	25%
人材育成の取組状況	組織として社外研修は十分に活用しているが、社内研修は企画・検討段階である	0%	3%	0%	0%	0%	29%	0%
人材育成の取組状況	組織として社外研修を部分的に活用している	7%	37%	43%	0%	33%	29%	0%
人材育成の取組状況	組織としての取組はないが、個人として社外研修を活用している	7%	0%	0%	33%	11%	0%	0%
人材育成の取組状況	まだ取り組みには至っていない	13%	6%	0%	33%	17%	0%	75%
人材育成の取組状況	分からない	0%	3%	14%	0%	17%	29%	0%
人材育成の取組状況	その他	7%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人材育成の取組状況	ESG・社会課題を理解・分析する	60%	34%	71%	33%	78%	43%	25%
人材育成の取組状況	インパクトファイナンスの時代背景や社会的意義を理解する	53%	46%	43%	33%	44%	57%	25%
人材育成の取組状況	インパクトファイナンスの基本的な考え方やフレームワークを理解する	60%	60%	43%	33%	67%	100%	25%
人材育成の取組状況	インパクトファイナンスの国内外の事例を知る	67%	43%	43%	100%	50%	86%	25%
人材育成の取組状況	インパクト戦略やインパクト目標の設定方法を学ぶ	67%	43%	57%	33%	22%	71%	25%
人材育成の取組状況	インパクトファイナンスにおけるインパクト測定方法を学び・演習する	47%	17%	29%	33%	22%	71%	25%
人材育成の取組状況	インパクトファイナンスの管理（マネジメント）方法やエンゲージメントの手法を学び・演習する	47%	14%	29%	33%	33%	71%	25%
人材育成の取組状況	インパクトファイナンスの案件組成やデューデリジェンスのプロセスを演習する	53%	6%	29%	33%	11%	43%	25%
人材育成の取組状況	インパクトレポートなどの開示・報告の方法を学ぶ	47%	9%	14%	67%	28%	71%	25%
人材育成の取組状況	インパクトファイナンスの社内横断的な連携・巻き込みの手法を学ぶ	20%	11%	14%	0%	11%	29%	0%
人材育成の取組状況	インパクトファイナンスに特化した育成は行っていないが、ESG投資など他の分野での育成を実施している	13%	14%	29%	0%	33%	14%	25%
人材育成の取組状況	まだ取り組みには至っていない／分からない	13%	6%	14%	0%	6%	0%	50%
人材育成の取組状況	その他	7%	0%	0%	0%	0%	0%	0%

アンケート分析-アセットクラス別

- アンケートの回答より、以下のようなアセットクラス別の傾向を捉えております。

④人材育成の課題

- 望ましい研修対象者について、VC・PE・信用金庫・証券では経営層が最多。銀行では法人営業の一般社員、PE・生命保険では投融資実務を行う一般社員など実際に商品販売する層へのニーズが高い。資産運用会社では推進・企画担当が多く挙げられており、他のアセットクラスとは異なるニーズが見受けられる
- インパクトファイナンス全般の課題と同様、教えられる人が不足していることが課題

カテゴリ	選択肢	VC	銀行	PE	信用金庫	生命保険	資産運用会社	証券
人材の課題	経営層（インパクトファイナンスの管掌役員に限らず）	47%	34%	43%	67%	33%	43%	100%
人材の課題	部長・課長層（インパクトファイナンスの推進・企画を担う組織）	7%	9%	14%	0%	0%	14%	50%
人材の課題	部長・課長層（インパクトファイナンスの投融資実務を担う組織）	27%	3%	29%	0%	33%	29%	25%
人材の課題	部長・課長層（インパクトファイナンスの法人営業を担う組織）	0%	17%	0%	67%	17%	0%	75%
人材の課題	一般社員（インパクトファイナンスの推進・企画を担う組織）	33%	6%	29%	0%	6%	57%	50%
人材の課題	一般社員（インパクトファイナンスの投融資実務を担う組織）	40%	9%	43%	0%	44%	43%	25%
人材の課題	一般社員（インパクトファイナンスの法人営業を担う組織）	7%	57%	14%	67%	17%	29%	75%
人材の課題	上記のどれにも当てはまらない／分からない	27%	9%	29%	33%	28%	29%	0%
人材の課題	その他	7%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人材の課題	インパクトファイナンスの研修（社内・社外）の実施・受講に対する上級管理職の関与や後押しが不足している	20%	11%	29%	33%	11%	14%	25%
人材の課題	インパクトファイナンスの研修（社内・社外）の実施・受講に対する上司や他部門からの理解や賛同が得られにくい	13%	17%	14%	0%	0%	0%	0%
人材の課題	インパクトファイナンスの研修（社内・社外）の実施・受講に対する意思決定や承認のプロセスが煩雑である	13%	6%	0%	0%	11%	0%	0%
人材の課題	インパクトファイナンスの研修（社内・社外）の予算が不足している	33%	6%	0%	0%	6%	14%	0%
人材の課題	インパクトファイナンスの研修（社内・社外）の提供や受講が評価や報酬に反映されない	13%	14%	14%	0%	0%	0%	0%
人材の課題	インパクトファイナンスの研修を社内提供できる人員が数の面で不足している	40%	31%	29%	33%	39%	43%	25%
人材の課題	インパクトファイナンスの研修を社内提供できる人員が能力の面で不足している	13%	43%	0%	0%	11%	0%	0%
人材の課題	インパクトファイナンスの経験者が少なく、社内でのどのような研修を提供したらいいのかわからない	20%	26%	0%	33%	0%	0%	0%
人材の課題	インパクトファイナンスの経験者が少なく、社内研修のサポート体制が不足している	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人材の課題	インパクトファイナンスの社外研修があることを知らない	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人材の課題	インパクトファイナンスの社外研修があることは知っているが、貴社にとって何が適切かわからない	7%	3%	0%	0%	11%	0%	0%
人材の課題	インパクトファイナンスの社外研修があることは知っているが、貴社にとって適切な研修がない	7%	0%	0%	0%	0%	14%	0%
人材の課題	まだ取り組みには至っていない／分からない	7%	0%	14%	0%	11%	0%	50%
人材の課題	その他	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%

アンケート分析-アセットクラス別

- アンケートの回答より、以下のようなアセットクラス別の傾向を捉えております。

⑤人材育成に関する ニーズ

- 会費以外の研修費用負担はしたくないと考える機関が多いものの、費用が発生しても構わないと考える機関もあり、人材育成ニーズは高いと推察される
- 研修の領域については、「会社/ファンドレベルの戦略立案」「個別案件のロジックモデル・KPI・管理・DD」「ポートフォリオレベルの管理」「レポートニング」「エクジット」など、実務直結型の研修領域が求められている
- 形式については基礎講座を求める声が多く、続いて事例紹介や実務者同士の相談会にニーズがあると見受けられる

カテゴリ	選択肢	VC	銀行	PE	信用金庫	生命保険	資産運用会社	証券
IDFIへの期待	非常に期待している(内容によっては会費とは別に費用が発生しても構わない)	33%	3%	43%	0%	28%	43%	25%
IDFIへの期待	ある程度期待している(会費とは別に費用を払いたくない)	47%	69%	29%	67%	56%	57%	50%
IDFIへの期待	あまり期待していない	7%	11%	0%	33%	6%	0%	25%
IDFIへの期待	まったく期待していない	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
IDFIへの期待	その他	7%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
研修の領域	会社/ファンドレベルのインパクト戦略の立案とTOCの策定	47%	31%	43%	0%	28%	57%	50%
研修の領域	個別の案件のロジックモデル作成	33%	26%	43%	33%	56%	43%	50%
研修の領域	個別案件のインパクトデューデリジェンスの方法	33%	20%	57%	33%	44%	71%	25%
研修の領域	個別案件のKPI設定の方法	53%	31%	71%	67%	61%	57%	25%
研修の領域	個別案件のインパクトの管理(マネジメント)の方法	60%	29%	71%	67%	67%	71%	25%
研修の領域	ポートフォリオレベルのインパクトの管理(マネジメント)の方法	27%	23%	43%	0%	56%	86%	0%
研修の領域	エクジットの方法	33%	3%	43%	0%	11%	29%	0%
研修の領域	検証・レポートニングの方法	33%	20%	29%	33%	28%	71%	0%
研修の領域	個別の環境・社会課題についての知識や方法論	20%	17%	14%	33%	28%	29%	50%
研修の領域	分からない／特になし	13%	0%	0%	0%	11%	0%	0%
研修の領域	その他	7%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
研修の形式	インパクトファイナンスに関する基礎講座(時代背景、基本的な考え方、原則・ガイドライン・フレームワークなど)	27%	43%	57%	67%	44%	57%	50%
研修の形式	国内／海外の事例やベストプラクティスの紹介	40%	14%	0%	0%	17%	14%	0%
研修の形式	実務者同士のピアラーニング	27%	11%	0%	0%	0%	14%	0%
研修の形式	実務者同士の座談会や相談会	40%	11%	0%	0%	11%	43%	0%
研修の形式	経営層の座談会や相談会	20%	6%	0%	0%	0%	0%	0%
研修の形式	インパクトファイナンスに携わる方々によるコミュニティの形成	7%	3%	14%	0%	6%	0%	25%
研修の形式	インパクトファイナンスの現場(地域やNPOなど)の視察	13%	6%	0%	0%	6%	0%	0%
研修の形式	研修の必要性を感じない	7%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
研修の形式	その他	7%	0%	0%	0%	0%	0%	0%

意見交換会

- 本日共有いたしました内容をもとに、皆さまで議論を深めていただきたいと思います。
- 11:20にワークを終了いたします。

タイム テーブル	#	内容	詳細	時間
	1	グループ分け	アセットクラス別に対面／オンラインでグループに分かれる ※事務局から案内あり	5
	2	個人ワーク	トークテーマに沿って個人の意見を深める	5
	3	グループワーク	トークテーマに沿って個人の意見を共有し、議論を深める	18
	4	発表	幾つかのグループから議論内容を発表いただく	10
トーク テーマ	• アンケート結果についてどのような感想を持ったか？（同意できる点、違和感を持った点） • 必要であるとされた「基礎的な研修」について、自身が行っているアセットクラスを想定するとどのような研修が必要か？ • 「経営層の関与」について、非営利・第3者であるインパクト志向金融宣言が何か取り組むことにより、理解を向上させることができるか？それはどのようなものか？（例：経営層による座談会、経営層を対象としたインパクト投融資の現地視察など）			

さいごに

- アンケート、ヒアリング、本日の意見交換会の内容を踏まえて、12月に最終報告を予定しております。
- 最終報告では、課題や人材育成ニーズを明らかにし、施策の具体的な検討をしてまいります。

タスク分類	2025年					
	7月	8月	9月	10月	11月	12月
マイルストーン※		運営委員会 ▼		WL会合（本日） ▼		最終報告 ▼
仮説設計	既存研修・調査のレビュー 初期ヒアリング	アンケート・ヒアリング 設計				
アンケート・ヒアリング実施			アンケート実施 ヒアリング実施			
成果物作成			調査結果の取りまとめ・ 示唆出し①	調査結果の取りまとめ・示唆出し②		研修プログラムの方針策定

お気づきの点やご意見がございましたらいつでもご連絡ください。

- 野崎 : kotona.nozaki@pwc.com
- 岡田 : kanon.okada@pwc.com

Thank you